

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-5577
http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事	
全国計量士大会、計報(石田隆一氏)	①面
計量関連機関年頭あいさつ	②面
計連新年賀詞交歓会、日本電気計測工業年賀交歓会	③面
NMS研究会座談会(3)	④面
メートル法の起源(3)	⑤面
寄稿(中村邦光・安藤正一)	⑥面
社説、NMIJ成果発表会	⑦面
環境セミナー、経営アンケート(2)	⑧面
寄稿(岡和雄)	⑨面
	⑩面
	⑪面
	⑫面

第18回全国計量士大会

2月28日(金)、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで

「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」テーマに

日本計量振興協会(日計振)は「第18回全国計量士大会」を、2月28日(金)、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催する。今回のメインテーマは「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」。計量管理推進に関連する2つの発表がある。

計量管理を推進する2つの発表

大会テーマは、「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」。

計量士が計量現場において、計量法政省令改正への対応を進めるなか、計量システムが非自動、自動化を問わず、日々、遭遇する実務の課題を長年の経験を通じて、常に改善しながら業務に携わっていること等について食品製造企業2社から発表する。その後、参加者との意見交換を実施する。

意見交換で得られた成果は、関係機関等へ力強くアピールする等、将来に向け、計量士を取り巻く諸課題の解決につなげていくため、一緒に考え

- 開催概要
【日時】2月28日(金)、13時30分～18時30分
【会場】ホテルインターコンチネンタル東京ベイ(〒105-8576、東京都港区海岸1-16-2、電話03-5404-1222)
【参加費】同会正会員所属計量士6000円、上記以外1万円
【募集人員】200名
【申込方法・締切】2月10日(月)、電子メール、FAX等で申込
【申込・問い合わせ先】同会推進部(〒162-0837、東京都新宿区納戸町25-1、電話03-3268-4925、FAX03-3268-2553、電子メール@nikkeisin.or.jp)
■プログラム
【大会】◇主催者あいさつ・鍋島孝敏(日本計量振興協会会長) ◇来賓あいさつ・阿部一貴(経済産業省計量行政室長) ◇状況報告Ⅱ一般社団法人日本計量振興協会の計量士関係事業の取り組み状況
◇意見交換Ⅱ▽メインテーマ「新しい計量制度への取り組みの状況と課題Ⅱ」▽コーディネーター・堀田圭一(計量計測技術センター、計量士部会委員)▽発表①(食料品) 適正計量管理事業所の計量管理と自動はかりの計量管理と自動はかりの課題・廣田伶(千葉県計量協会、ヤマサ醤油品質保証部、計量士) ②自動はかりの制度改正と計量管理の今後の課題・奥村元(神奈川県計量士会、日本製粉生産技術本部、計量士▽フリーディスプレイ) ③懇親会 17時～18時30分
■発表の概要
①(食料品) 適正計量管理事業所の計量管理と自動はかりの課題・▽適正計量管理事業所の計量器管理は、非自動はかりだけでなく、圧力計、温度計、密度計、流量計など多種多様な管理が必要となる。これら計量器

TANITA デジタルスケール (TL-280)
見やすいバックライト付大型表示
¥33,000(税抜)



の日常管理、校正など社内における計量管理の方法と社内研修等について、どのように実施しているか紹介する。▽加えて、これからの計量器管理として計量法政省令改正にもなつ自動はかりの管理も必要となる。現状、われわれがおこなっている対応について紹介するとともに、現在の管理方法とJIS法とを比べ、今後の適正計量管理事業所としての自動はかりの管理方法についての課題とその対応策について発表する。

②自動はかりの制度改正と計量管理の今後の課題・▽計量法政省令改正にともなう検定の技術基準は、自動捕捉式はかりのJIS B 7607は2018年8月に、ホッパースケールのJIS B 7603は2019年8月に改正された。円滑な運用のため更なるJIS改正作業が進められている。既存の自動はかりの検定猶予期間は、自動捕捉式はかりで2020年3月末、ホッパースケールで2026年3月末となっている。▽これらの新制度に対応して、計量士は、制度改正の内容を理解してどのような

石田隆一氏
計量機器メーカー大手のインシタの名譽会長である石田隆一氏が、2020年1月18日、病気のため死去した。84歳。京都市左京区出身。葬儀は近親者のみで執りおこなった。喪主は長男の石田隆英氏(インシタ代表取締役社長)。

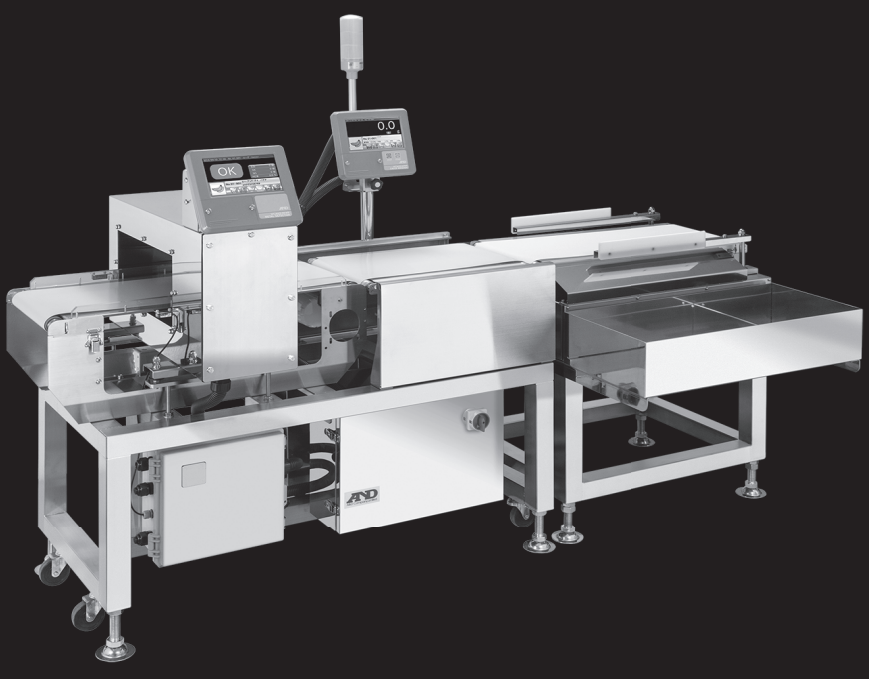
インシタは、2020年3月6日、国立京都国際会館(京都市左京区岩倉大鷲町422)で「お別れの会」を開く。

石田隆一氏は、1960年(昭和35年)2月株式会社石田衡器製作所(現株式会社インシタ)入社、1964年(昭和39年)5月同社取締役就任、1967年(昭和42年)5月同社常務取締役就任、1967年(昭和42年)12月同社代表取締役社長就任、2010年平ブインタビュにも度々登場し、「三方良し」の企業理念、「世の適社・適者」を掲げた経営の推進を説いた。

5年3月末、ホッパースケールで2026年3月末となっている。▽これらの新制度に対応して、計量士は、制度改正の内容を理解してどのような

新しいコンビ機の登場です。

新しい金属検出機、ウェイトチェッカをお届けします。



二つの新技術を一台中に省スペースで実現

金属検出機付 ウェイトチェッカ WCMシリーズ

AND 株式会社 エー・アンド・デイ

本社/〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 Tel.03(5391)6128(直)
札幌011-251-2753/仙台022-211-8051/宇都宮028-610-0377/東京北048-592-3111
東京南045-476-5231/静岡054-286-2880/名古屋052-726-8760/大阪06-7668-3900
広島082-233-0611/福岡092-441-6715 <http://www.aandd.co.jp>